

| 授業科目(ナンバリング) | 異文化適応 A(AD101) | | | 担当教員 | ※井上 麗奈 | | |
|--|---|-----|------|---------|--------------|-------|----------------|
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 1 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 日本での日常生活や大学生活、アルバイトなどにおいて、日本語だけではなく、日本の文化、歴史、生活様式など様々なことを学び、フィールドワークを通して、日本という国の全体に興味を持ち、留学生生活が充実し、日本での生活が円滑に行うことを目標とする。 | | | | | | | ①②③④⑤⑦⑧⑨ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | 日本での留学生生活を円滑に過ごすことができる。 | | | | 定期試験 | 10% | |
| 情報収集、分析力 | 日本と母国の文化や習慣、歴史などを様々な手段を通して情報を収集し、理解、説明できる。 | | | | 小テスト | 10% | |
| コミュニケーション力 | 正しい日本語で自分の意思を表現できる。 | | | | 授業態度・授業への参加度 | 20% | |
| 協働・課題解決力 | グループワーク、フィールドワークを通して、日常生活の中での疑問や問題を討論し、説明できる。 | | | | 課題レポート | 10% | |
| 多様性理解力 | 日本の文化や習慣を学習し、母国との違いを理解できる。 | | | | 定期試験 | 50% | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| 授業への出席や授業態度及び授業中の発言（20%）を評価の一部とする。また、不定期に小テスト（10%）や課題（10%）、定期試験（60%）を通して、総合的に評価する。課題レポート、課題発表については、授業内で指示する。課題レポートは、提出後、添削し、翌週に返却する。再提出が必要な場合、提出日を指定し、同じく添削後に返却する。 | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| この授業は、教科書を使うほか、適時にプリントを配布、絵カードや映像などを用いて授業を行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。 | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| 教科書：トキオ・ナレッジ『日本人のしきたりいろは図鑑』宝島社 参考書：菅原正子『くらし・儀式・行事 日本人の生活文化』吉川弘文館 指定図書：トキオ・ナレッジ『日本人のしきたりいろは図鑑』宝島社 | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| 日本での日常生活の中で、様々な疑問や質問があると思います。まず、日本語の授業、テレビや新聞などを通して、日本語をしっかり身につけ、母国以外の方と関わる際（アルバイト先など）よく周囲を観察することで、今まで思っていた疑問や質問への解答が見つかると思います。また、様々なところへ出かけ、日本の文化、生活様式を体験してください。授業中に積極的に質問や発言し、日本文化の理解や日本語の上達を期待している。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|---------------------------|--|---|
| 1 | オリエンテーション 大学生活への適応 (1) | 授業の流れ、授業を履修する際の注意事項。 学生生活にスムーズに適応できるように、履修登録などについて | 予習：学生便覧・シラバスを読む 復習：授業終了までの到達目標を立てる |
| 2 | 大学生活への適応 (2) | 学生生活にスムーズに適応できるように、長崎国際大学の学則などについて | 予習：学生便覧・シラバスを読む 復習：重要な部分をノートにまとめる |
| 3 | 大学生活への適応 (3) | 「マナバフォリオ」の使い方等について | 予習：『マナバコース学生用マニュアル』を読む 復習：重要な部分をノートにまとめる |
| 4 | 日本語の表現① | 日本語の主語、助詞などを学ぶ | 予習：助詞の種類、意味を確認する 復習：助詞のプリントを完成させる |
| 5 | 日本語の表現② | 尊敬語とは何か、具体例を通して、正しい使い方について学ぶ | 予習：尊敬語の意味と使い方の確認をする 復習：配布プリント（尊敬語）を完成させる |
| 6 | 日本語の表現③ | ・謙譲語とは何か、具体例を通して、正しい使い方について学ぶ ・尊敬語と謙譲語の違いを再確認 | 予習：謙譲語の意味と使い方の確認をする 復習：尊敬語と謙譲語の違いを再確認 |
| 7 | 日本生活への適応① | 交通ルールについて学ぶ。歩行者、二輪車、自動車、それぞれの立場から学ぶ | 予習：日本の交通ルールについて調べる 復習：重要な部分を再確認する |
| 8 | 日本生活への適応② | ・ごみの分別の種類とリサイクルのメリット ・ディスカッションを通して実際分別を行う | 予習：ごみ分別の種類とリサイクルの意味を調べる 復習：配布プリント（ごみの分類）を完成させる |
| 9 | 日本生活への適応③ | 大学生、社会人にとってのマナーについて説明する | 予習：マナーの意味、日本人のマナーについて調べる 復習：重要な部分を再確認する |
| 10 | 日本の「常識」 | 日本「常識」を説明し、母国と日本の共通点や違う点について発表する | 予習：「常識」とは何かについて調べる 復習：母国と日本の「常識」を再確認する |
| 11 | 日本の祝祭日 | 日本の祝日とその由来について学ぶ | 予習：日本の祝日について調べる 復習：重要な部分を再確認する |
| 12 | 日本の祭り | 日本の祭りとその由来について学ぶ | 予習：日本の祭りについて調べる 復習：日本と母国の祭りの違いを再確認する |
| 13 | 日本の食文化① | ・日本料理の特徴、精進料理、お節料理について学ぶ ・グループディスカッションを通して、母国と日本の違いについて発表する | 予習：日本料理の種類について調べる 復習：母国と日本の違いを再確認する |
| 14 | 日本の食文化② | ・テーブルマナーの理論について学ぶ ・グループディスカッションを通して、テーブルマナーを実践する | 予習：テーブルマナーを調べる 復習：母国と日本の違いを再確認する |
| 15 | まとめ | 学習したすべての内容の理解と再確認をする | 予習：教科書やノート、配布資料の要点をまとめる 復習：すべての内容 |
| 16 | 定期試験 | | |